

世界資源株ファンド

追加型投信／海外／株式 特化型

作成対象期間：2021年10月20日～2022年4月19日

第 33 期 決算日：2022年4月19日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界資源株マザーファンド受益証券を通じ、世界各国（除く日本）の資源関連の株式を高位に組み入れる運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第33期末（2022年4月19日）


基準価額	10,749円
純資産総額	4,659百万円
騰落率	+ 41.5%
分配金合計 ^(*)	100円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufg.jp/>[ファンド検索] に
ファンド名を入力各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード **MUFG** 三菱UFJ国際投信東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第33期：2021年10月20日～2022年4月19日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第33期首	7,665円
第33期末	10,749円
既払分配金	100円
騰落率	41.5%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ41.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

保有する資源関連株式が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

組入銘柄では、堅調な原油価格や鉄鉱石価格などを背景に「BHP GROUP LTD」（豪州）や「CHEVRON CORP」（米国）などが上昇し、基準価額の上昇要因となりました。

※参考指数①は、Euromoneyグローバル・マイニング・インデックス（円換算ベース）、参考指数②は、MSCIワールドエナジーインデックス（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2021年10月20日～2022年4月19日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	70	0.839	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(34)	(0.411)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.007	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.013	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	72	0.859	

期中の平均基準価額は、8,296円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

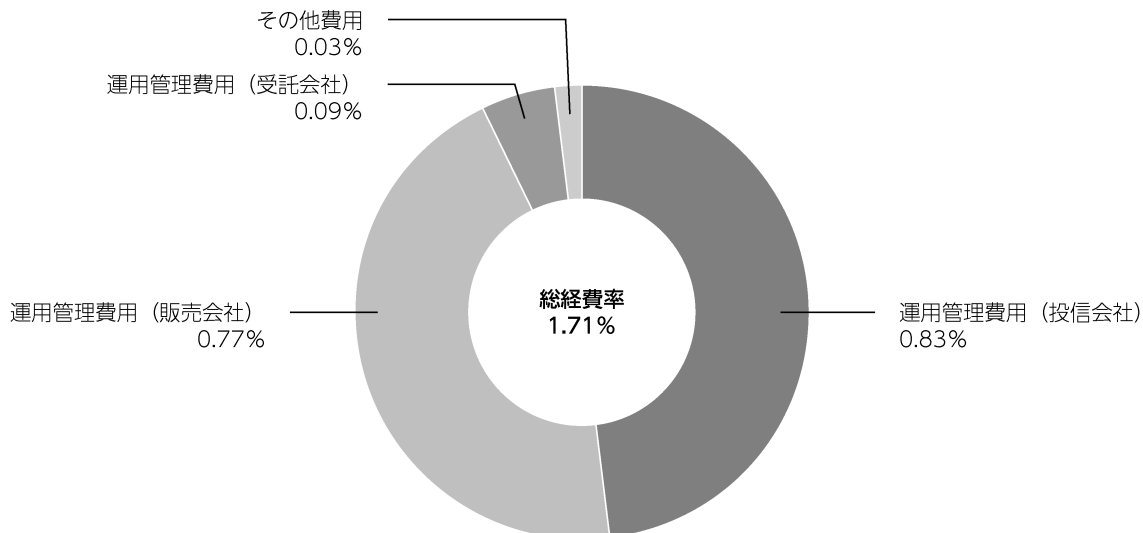
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.71%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

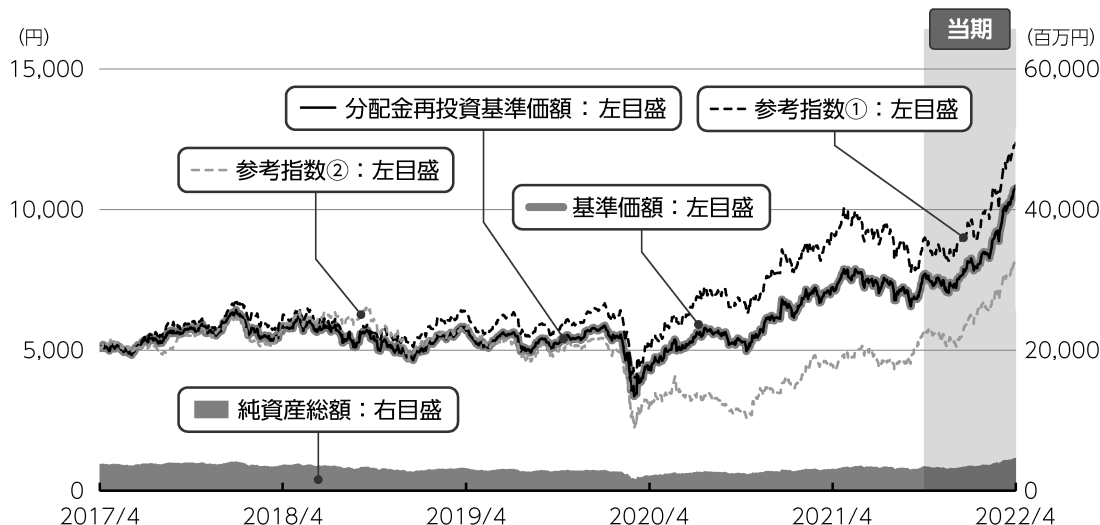
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年4月19日～2022年4月19日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2017年4月19日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2017/4/19 期初	2018/4/19 決算日	2019/4/19 決算日	2020/4/20 決算日	2021/4/19 決算日	2022/4/19 決算日
基準価額 (円)	5,110	5,841	5,703	4,424	7,244	10,749
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.3	-2.4	-22.4	63.7	49.8
参考指数①騰落率 (%)	—	21.9	0.8	-17.0	76.7	34.3
参考指数②騰落率 (%)	—	14.2	-1.0	-45.7	42.3	84.9
純資産総額 (百万円)	3,819	3,730	3,200	2,182	3,138	4,659

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数①は、Euromoneyグローバル・マイニング・インデックス（円換算ベース）、参考指数②は、MSCIワールドエナジーインデックス（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第33期：2021年10月20日～2022年4月19日

投資環境について

▶ 株式市況

株式市況は下落、商品市況は原油などが上昇しました。

期首から2021年12月にかけての株式市況は、新型コロナウイルス感染拡大による供給網の混乱やインフレ率の高止まりを懸念する一方、好調な企業業績を受けて変動の大きい展開となりました。2022年1月以降はインフレ率の高止まりを受け、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の正常化を前倒しするとの警戒感や、ウクライナ情勢の緊迫化といった地政学リスクの高まりなどを受け、株価は下落しました。その後、3月に米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが開始され、金融政策の不透明感がある程度解消されたことなどから上昇する局面

もありましたが、期末の株価は期首に比べて下落しました。

商品市況についてみると、原油価格は、石油輸出国機構（OPEC）プラスが大きく増産に踏み切らなかったことや、ロシアによるウクライナ侵攻や武装組織によるサウジアラビアの石油関連施設への攻撃といった地政学リスクの高まりなどを背景に上昇しました。また、金価格は、相対的に安全資産として評価されたことなどから上昇しました。

▶ 為替市況

主要通貨は円に対して上昇しました。

米ドルやカナダドル、英ポンド、豪ドルといった主要投資先通貨は円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 世界資源株ファンド

マザーファンドを通じ、世界各国（除く日本）の資源関連の株式を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ 世界資源株マザーファンド

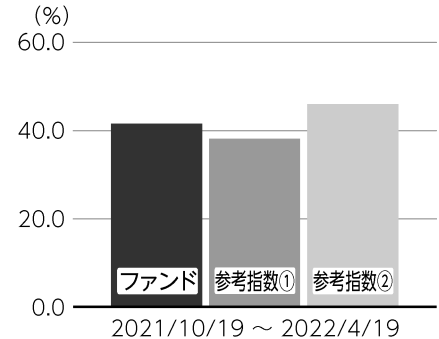
各種金属・鉱業関連銘柄や金関連銘柄などへの幅広い投資を継続しました。組入比率は高位を維持しました。当期のパフォーマンスについては、原油関連銘柄などが上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数①は、Euromoneyグローバル・マイニング・インデックス（円換算ベース）、参考指数②は、MSCIワールドエナジーインデックス（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第33期 2021年10月20日～2022年4月19日	
	当期分配金（対基準価額比率）	100
当期の収益	100	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	2,597	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 世界資源株ファンド

マザーファンドへの投資を通じて、世界各国（除く日本）の資源関連の株式を高位に組み入れ、信託財産の中長期的な成長をめざす運用を行います。

▶ 世界資源株マザーファンド

新型コロナウイルスの状況や米中間の緊

張関係に加え、ウクライナ情勢など、外部要因に不透明感はあるものの、資源関連株式の銘柄選定においては、埋蔵資源量、生産コスト、財務内容、マネジメント、成長性といった企業のクオリティや、コモディティごとの需給環境に注目し、有望な銘柄を発掘することで、投資リターンの獲得をめざします。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

- ・該当事項はありません。

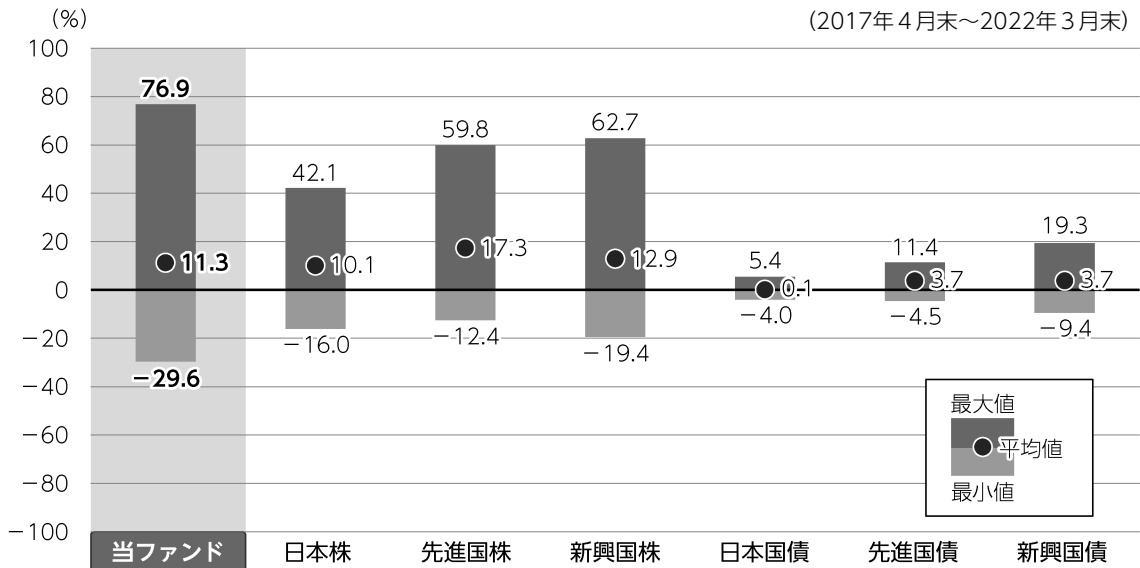
*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式 特化型
信託期間	2025年10月17日まで（2006年1月20日設定）
運用方針	マザーファンドを通じて主として、世界各国（除く日本）の資源関連の株式等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド 世界資源株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。</p> <p>■世界資源株マザーファンド 世界各国（除く日本）の資源関連の株式等を主要投資対象とします。</p>
運用方法	世界各国（除く日本）の資源関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

- ◆ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
 - ◆ファンドは、世界各国（除く日本）の資源関連の株式等に投資します。世界各国（除く日本）の資源関連の株式等には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- *寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年4月から2022年3月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年4月19日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第33期末 2022年4月19日
世界資源株マザーファンド	99.8%

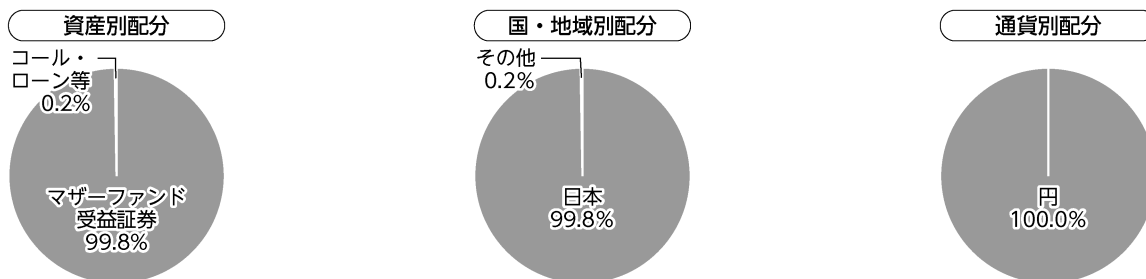
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第33期末 2022年4月19日
純資産総額 (円)	4,659,509,058
受益権口数 (口)	4,334,878,309
1万口当たり基準価額 (円)	10,749

※当期中において追加設定元本は575,468,433円
同解約元本は 782,051,660円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

290207

2022年4月19日現在

組入上位ファンドの概要

世界資源株マザーファンド

基準価額の推移

2021年10月19日～2022年4月19日



1万口当たりの費用明細

2021年10月20日～2022年4月19日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株式)	1 (1)	0.007 (0.007)
(b)有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c)その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.012 (0.010)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	3	0.019

期中の平均基準価額は、20,664円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：45銘柄)

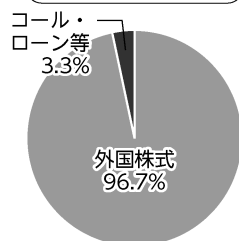
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	BHP GROUP LTD	株式	オーストラリア	天然資源 多角経営	6.6
2	ANGLO AMERICAN PLC	株式	イギリス	金属 - 多角経営	5.3
3	CHEVRON CORP	株式	アメリカ	石油 - 総合	5.2
4	VALE INDONESIA TBK	株式	インドネシア	非鉄金属	5.0
5	AGNICO EAGLE MINES LTD	株式	カナダ	金	4.7
6	NEWMONT CORP	株式	アメリカ	金	4.2
7	FRANCO-NEVADA CORP	株式	カナダ	金	3.9
8	BHP GROUP LTD-DI	株式	オーストラリア	天然資源 多角経営	3.8
9	RIO TINTO LTD	株式	オーストラリア	金属 - 多角経営	3.7
10	EOG RESOURCES INC	株式	アメリカ	石油 - 探査・生産	3.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※業種名はBloomberg業種分類を採用しています。
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

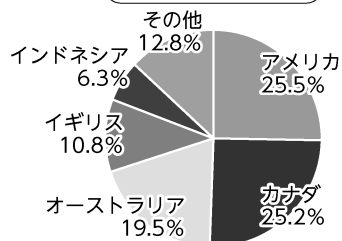
種別構成等

資産別配分



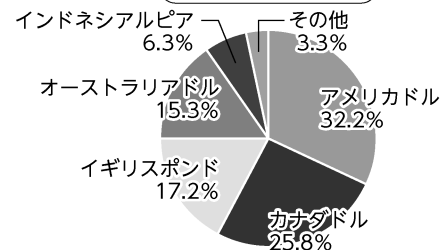
- ※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

国・地域別配分



- ※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含まず。

通貨別配分



指数に関して

▶ ファンドの参考指数①である『Euromoneyグローバル・マイニング・インデックス（円換算ベース）』について

Euromoneyグローバル・マイニング・インデックス（円換算ベース）は、Euromoneyが算出・公表している世界の鉱山関連株式で構成される株価指数であるEuromoneyグローバル・マイニング・インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。Euromoneyグローバル・マイニング・インデックスに関する著作権その他の知的財産権はEuromoneyに帰属しており、その許諾なしにこのインデックスの全部または一部を複製・配付・使用等することは禁じられています。

▶ ファンドの参考指数②である『MSCIワールドエナジーインデックス（円換算ベース）』について

MSCIワールドエナジーインデックス（円換算ベース）は、MSCI Inc. が開発した石油・天然ガス等エネルギー関連株式で構成される株価指数であるMSCIワールドエナジーインデックスをもとに委託会社が計算したものです。MSCIワールドエナジーインデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータ

の誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● **J PモルガンGB I – EMグローバル・ダイバーシファイド**

J PモルガンGB I – EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信